

公開研究会「ウィズ・アフターコロナの景観ビジョンとアプローチ」

主催：日本建築学会都市計画委員会グローバル景観デザイン小委員会

日時：2022年2月21日(月)18:30～20:30

会場：オンライン開催(Zoom)

景観や都市デザインをめぐる状況は、グローバルとローカルの境界を越えて、再生可能エネルギーの導入や環境保全の広がり、相次ぐ自然災害に対応できるレジリエンスな地域づくり、そしてコロナ禍による人々のコミュニケーションとライフスタイルの変化等、未だかつて経験したことのない状況へと大きく変化しつつある。本小委員会は、急変するこれらの状況を踏まえた景観施策の枠組みについて、研究、課題抽出、提言することを目的に研究に取り組み、①アフターコロナ、②再生可能エネルギーの普及・環境保全、③災害に対するレジリエンスという3つのテーマを切り口に、グローバルに今起きている現象の把握・整理を進めている。

今回の研究会は、①アフターコロナに着目して公開で議論を進める。登壇者から海外の都市政策の事例を紹介いただき、コロナ禍での海外の景観変容と日本での景観変容を考察し、今後の景観政策の見直しに向けた課題の整理を行なう。グローバルな視点からウィズ・アフターコロナの景観ビジョンとアプローチについて、議論を深めたい。

■プログラム

- 18:30-18:35 本研究会の進め方：栗山尚子（司会、神戸大学准教授）
- 18:35-18:40 主旨説明：志村秀明（芝浦工業大学教授）
- 18:40-19:40 登壇者による海外の事例説明
- ①樋渡彩（近畿大学工学部、講師）
「イタリアの景観政策の広がり——チェントロストリコからテリトリーオへ」
- ②村上迅（シンガポール工科・デザイン大学、Assistant Professor）
「シンガポール、東南アジアの都市政策（仮）」
- ③阿部大輔（龍谷大学政策学部、教授）
「変容する景観の「地模様」：海外諸都市の取り組みから」
- 19:40-19:45 休憩
- 19:45-20:25 ディスカッション
- 20:25-20:30 まとめ：栗山尚子（前掲）

■申込に関する事項：

参加方法：当日 Zoom によりご視聴ください。開催前日までに、申込者へ Zoom 接続に必要な情報をメールでお伝えします。送付先のアドレスは、お申込み時に入力していただいたアドレス（会員の方はサインイン時のアドレス）にお送りします。

参加費：日本建築学会会員 1,500 円、会員外 2,000 円、学生（会員／会員外）1,000 円

※登壇者より資料の提供があった場合のみ、研究会当日にデータを配布いたします。

定員：50名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み／事前クレジット決済のみ（申し込み締め切り 2月14日(月)13時まで）

申し込みページ：以下のページからクレジット決済で参加費をお支払いください。

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=653602>

問合わせ：日本建築学会事務局事業グループ・榎本 TEL：03-3456-2057 E-mail：enomoto@aij.or.jp

■オンライン参加にあたっての注意事項

会員の方は申し込み時にサインインしたメールアドレス宛に、それ以外の方は申し込み時に入力したメールアドレス宛に、開催数日前に Zoom の参加用 URL をお送りします。

①視聴には PC やタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要です。通信料は参加者のご負担になります。

②受信映像や講演資料の保存（画面キャプチャ、カメラ撮影等）、録音、再配布は禁止です。

③参加用 URL 等をシェアすることは固くお断りいたします。各自でお申し込みください。

④委員会の記録として録画を行ないます。ご了承ください。ライブ配信のため、開催後の視聴はできません。

⑤Zoom は最新版への更新をお願いいたします。Zoom の使い方・動作環境についてのご質問にはお答えできませんので、Zoom ヘルプセンターをご参照ください。

⑥参加者の環境やその時の回線状況により、やむを得ず中断される可能性があります。その場合は、本会では責任を負いかねますので、あらかじめご理解のうえお申し込みください。なお、お申し込み後の返金はいたしかねます。